

## 2025年度フリースペースかめっこの活動をふり返る

「フリースペースかめっこ」に通所したり、学習・生活支援に関わった児童生徒数やスタッフ数等の現状を報告するとともに、成果や課題について記述します。

### フリースペースかめっこの現状

#### ①開設日時

令和7年4月～令和8年3月の小  
 中学校開校日

#### ②開所日数 199日間

#### ③開所時数 1,194時間

(9:15～15:00)

#### ④学習支援 63時間

(15:30～16:30)

#### ⑤スタッフ数

ボランティアスタッフ16名  
 (指導者7名を含む)

#### ⑥対象者

亀山市内小中学校児童生徒

#### ⑦人数

登録人数 小学生6名 中学生6名  
 通級児童生徒数  
 延べ 786名(3月19日現)

### 本年度の取り組み

#### ①チャレンジタイムの設定

午前中、11:00～11:30の間、子どもと保護者と話し合いながら自分の時間を持つことを目的に進めています。

#### ②学習支援を申し出た子どもに対しては、教員免許を有したスタッフが対応しています。

申し出があれば個々の児童生徒にも、きめ細かく指導することは可能と考えます。

#### ③体験活動を充実

スポーツデーやクッキングデーなどを月ごとに設定するとともに、共同募金配分金事業に応募して、

野外活動、アート、ボードゲームなどの体験活動を実施しました。また夏休みにはミニキャンプをふれあい教室と共催で実施しました。

体験活動の中で子どもたちが協力して活動する姿に触れたり、真剣に取り組む姿を観る中で子ども理解が進んだり、子どもたちから活動の進め方や題材の精選について意見を聴くことができました。

今後も体験型イベントを進めるため、公募事業に応募していきたいと思えます。

年間24回実施  
 (施設内11回、施設外13回)

### 学校との連携の中で「意見」

・1つは、各校に配置された校内ふれあい教室についてです。学級でみんなと学ぶことが苦手な子どもたちのために、校内にふれあい教室を設ける取り組みが進んでいます。教職員のやりくりや場所の確保等大変なご苦勞を教職員の方々がされていることに敬意を表します。自分や仲間にとって居心地の良い居場所を作り上げようとする営みの中に成長があり、自分をステップアップするパワーがわいてくると考えます。学級も同じですが子どもに我慢を強いるのではなく、よりよい校内ふれあい教室の在り方が議論されることを望みます。

・2つ目は、発達障がいなどにより学級という集団生活になじみにくい子どもの存在です。学級という集団の中で、人と人の交わりを体験し、生き方を学んでいく過程は、大切であると考えています。そしてこの考えは、将来も大切にされると思います。しかし子どもの中には、人と人との交わりが苦手な子どもが存在しており、苦手な子どもに対するプログラムが準備されていない状況が続いています。

また人との交わりを苦手な子どもにしたのは、家庭の力が弱いためだと誤解した言動も見られます。多様性を学ぶことが求められる社会であることを考えると、個人の違いや尊厳を子どもたちにどう伝えていくか、またこの子どもたちの将来を豊かにするため、何が必要かを考えていく必要

を感じます。

・3つ目は、学校で特別支援学級に在籍しながら、教科学習に取り組みたいとの希望がある児童生徒に対して、教科担任や学級担任の言動が、学習意欲をそいでいるとの指摘が保護者との面談の中で依然としてあります。

「障がい者差別解消法」に言う障がい者に対する合理的配慮は、就労支援の中だけでなく、教育の中でも大切なことです。学校においてどのような合理的配慮が必要かを議論し、合理的配慮事項について平準化する取り組みが必要です。

・4つ目は、子どもを主体とした取り組みを進めるとき、「親の責任」という言葉を、教師が取り組まない理由にしてはならないと思います。親ができない時こそ、子どもに積極的につながる必要があります。同様に親や地域ができない時こそ、行政や子どもに関わろうとする支援団体等の活動が求められています。

・中学校の進路指導の方向として、高校への進学だけでなく、自分にあった道を選択する「進路選択」を提案できる学校であって欲しいと思えます。

・発達障害の認定(医療機関で診断)を受けた生徒の進路選択に関わり、特別支援学校への入学要件に満たないため、進学をあきらめざるを得ないケースがあることがわかってきました。多様性を認め合理的な配慮ができる高等学校が進路選択の中に組み込まれることを希求します。

## 卒業おめでとうございます

登録人数の子どもの内、小学校2名、中学校2名の子が卒業式を迎えました。  
 おめでとうございます。

